

千葉県警察 流山警察署

社会学部経営社会学科

3年 跡部 穂岳

1. 実習企業（団体）の概要

千葉県警察は、『安全で安心できる県民生活の確保』を掲げ、618万県民の安全で快適な市民社会の実現における重要な役割を担っている。流山警察署は、流山市を管轄する警察署として、昭和61年3月10日、柏警察署流山幹部交番から警察署に格上げされ、発足した千葉県警察が管轄する警察署のひとつである。

- ・交番数 7か所 ・駐在所数 2か所
- ・所在地 千葉県流山市三輪野山744-4
- ・署長 早川 昌宏

2. 実習内容

流山警察署の中の部署案内、仕事内容やその部署に応じた課外活動等を5日間通して行った。

3. 実習の成果

警察署にインターンシップに行ったということもあり、集合時間や礼儀、挨拶などは徹底していた。特に印象に残ったことは、毎日必ず行われる通常点検といわれるものである。交番勤務に行く人が毎朝決まった時間に持ち物の確認を兼ねて行う点検作業である。それは10人くらいが同じ動作で整列し、敬礼を行う。また、点呼を取る人に合わせ拳銃や手錠などの確認を同じタイミングで出し確認をするのである。一つ一つの動作が早く何をすることも動きが素早かった。流山警察署内はエレベータがなくすべて一つの階段を使わないと上にも下にも行けない環境になっているため必ず人に会う機会があるのである。なので、5日間たくさんの人に会いたくさん挨拶をした。スケジュール上、休憩時間から移動することが多く、実際の現場に行くにあたっての集合時間はほとんどないが、流山おおたかの森警察署内での時間は5分前行動と言われた。また、挨拶の質や声の大きさ、体を曲げた時の角度など他の企業では経験できないスキルや知識を学ぶことができた。

4. 実習の感想

朝の点検から始まり夕方までみっちり入ったスケジュールで5日間過ごした。特に印象に残ったことは、警察官は犯人を捜し、捕まえることや、交番に勤務し地域の安全を図ることだけだと思っていた。ところが、実際にインターンシップに行ってみて警察は様々な職種が体験できる職種なんだということがわかった。どういう意味かという、実習中に体験した移動交番は千葉県警察しか行っていない取り組みで、基本的な内容は交番で使われる、さすまたや、警察についてのDVDなどの荷物をリアカーに積んで目的地に行き、そこで交番業務を果たすというものである。私がインターン中にいった移動交番先は老人ホームであった。そこでは千葉県で行われている「いきいきキャンペーン」の記入アンケート用紙に協力してもらったり、その地域の高齢者が主に行う安全ボランティア協会の方と地域を巡回するというものである。そこでは老人ホームに務めている介護者のような気持ちになった。また別日には地域安全課の業務に同行しました。そこでは、「もし学童クラブに不審者がいたら」という題材で「さすまたの使用法とその対処法」というものであった。実際に子供たちがいる中で警察の人が犯人役をこなし撃退するところまで警察の人が指導をしていた。子供たちの安全を確保すること、誘導なども行いまるで保育園の先生のような業務であった。

日数	実習日	実習内容
1日目	8月1日(月)	署長申告、警務課長教養、交通安全講習会、警察装備品について
2日目	8月2日(火)	通常点検、拾得物教養、車両点検、機動隊装備装着、不審者侵入対策、鑑識体験
3日目	8月4日(木)	通常点検、移動交番、交番体験
4日目	8月5日(金)	通常点検、交番体験、防犯パトロール
5日目	8月10日(水)	通常点検、東小学校警察署見学、術科体験(柔道、剣道)